２０１０年7月１日

各　　位

会 社 名　あすか製薬株式会社
代表者名　取締役社長　山口　隆
（コード番号　４５１４　東証第一部）
問合せ先　法務広報部長　小林基博
（TEL.　０３－５４８４－８３６６ ）

あすか製薬 中期経営計画 ASKA PLAN 2012 の概要について

あすか製薬株式会社（代表取締役社長 山口　隆）は、2010 年 4 月から 2013 年 3 月末までの中期経営計画 ASKA PLAN 2012 を策定いたしました。

当社は、前中期経営計画において、新薬およびジェネリック医薬品の発売、ワイス社から製品の承継、共同開発および販売の契約、いわき工場の新棟建設による生産拠点の統合、あすか Actavis 製薬株式会社の設立など将来に向けた投資を積極的に行ないました。

今中期経営計画では確実な新製品の上市により売上規模を拡大するとともに、徹底したコストの削減と生産性・効率性の向上に取り組むことで「収益の向上」を図り、多様化する医療ニーズに応える企業をめざします。

中心である医薬事業においては、重点 3 領域（内科、産婦人科、泌尿器科）に資源を集中し、研究開発パイプラインの開発を加速します。また、ライフサイクルマネジメント（以下 LCM）に基づいた適応追加や新剤型の承認取得に注力し、バイオシミラーの開発にも取り組みます。生産については、生産拠点の統合による新体制を構築し生産性の向上を図ります。

ジェネリック専門のあすか Actavis 製薬株式会社では、早期に販売体制を構築し経営を軌道に乗せます。

全社的業務改善と要員の適正化により収益構造の改善を図ります。

記

1．基本方針

1) 「収益の向上」を図り、環境変化に強い企業体質を構築する。
2) あすかグループの独自性を追求し、競争力を強化する。

2．2012 年度グループ目標数値（連結）

	2012 年度	2009 年度（参考）
売上高	480 億円	357 億円
営業利益	30 億円	4 億円
研究開発費	50 億円	50 億円

＜参　考＞

1. 各事業方針

(1) 医薬事業

重点 3 領域（内科、産婦人科、泌尿器科）に資源を集中させ、研究開発の促進および新製品の上市を確実に実施します。

1) 研究開発

GPD-1116（気管支喘息および慢性閉塞性肺疾患治療剤）、AKP-002（排尿障害治療剤）を中心に開発のスピード化を図り、バイオシミラーである AKP-501（不妊症）のフェーズⅢ実施に向け積極的に取り組みます。また、LCM に基づいたアルタットの小児適応追加とリピディルの新剤型（錠剤）の承認取得をめざします。

2) 営　業

販売体制（新製品・承継品）を整備し、日本製薬株式会社と販売契約を締結した内視鏡検査前処置薬ミンクリア（NPO-11：胃蠕動運動抑制剤）、株式会社そーせいから日本における独占的販売権を取得したノルレボ（SOH-075：緊急避妊薬）の市場での早期育成をめざします。また LCM に基づいたアルタットの小児適応追加、リピディルの新剤型（錠剤）により主力製品の売上高の伸張につとめます。

3) 生　産

2010 年 4 月からいわき工場へ生産の拠点を統合したことにより、コスト競争力のある新生産体制を早期に構築し、製造委受託を推進することで生産性の向上をめざします。

(2) アニマルヘルス事業

2010年4月から協和発酵バイオ株式会社より畜水産領域およびコンパニオンアニマル領域に係る国内販売事業の承継に伴い、動物薬事業と畜水産事業の統合を推進し、繁殖と栄養の組み合わせによる相乗効果等による収益の向上をめざします。

(3) あすか Actavis 製薬株式会社

事業計画に基く予定品の販売体制を早期に構築するとともに、あすか製薬の営業、開発および生産部門の支援を最大限活用し経営基盤構築に取り組みます。

2. 全社的業務改善

・組織の再編と適正配置により、要員 900 名台をめざします。
・業務改革推進によるコスト削減を図ります。

以上